

1 調査の概要

社会情勢や人々の生活及び価値観の多様化が著しい今日、看護人材確保はもとより、質の向上を図ることは喫緊の課題となっています。一方で、看護職側でも、支援ニーズやキャリア意識に変化が生じていることが推測されます。職能団体である東京都看護協会に対する会員・非会員のニーズを明らかにすることにより、看護職のニーズに沿った事業のあり方や支援方法を検討するための基礎資料を得ることを目的に調査を実施しました。

1) 実施方法及び対象

東京都看護協会員及び非会員対象
Googleフォームを用いた無記名オンライン質問紙調査

2) 実施期間

令和4年10月1～31日

3) 主な調査内容

- (1) 属性
- (2) 東京都看護協会との関わり等
- (3) キャリアデザイン

4) 回答数

回答数1,173票、うち東京都看護協会会員928票
(会員の回答率 2.2%)

2 結果概要

東京都看護協会への要望として、「看護職の状況やニーズに合った研修をしてほしい」「もっとオンライン・オンデマンドなどを増やしてほしい」「現場の改善につながる国や東京都への看護政策要望をしてほしい」などの回答が多く寄せられました。

寄せられた意見を踏まえながら課題解決に向けた事業展開を進めてまいります。

東京都看護協会への要望（複数回答）

